

あなたは、加害者、被害者、観衆・傍観者、それとも仲裁者ですか？
それぞれの立場で考え話し合える、いじめ撲滅の感動の作品！

いじめは命の問題です。

教育映像祭優秀作品賞受賞

ひとみ 輝くとき

製作 / 八頭司 享
監督 / 内澤 豊



久保 明



生稲 晃子



草川 祐馬



子ども達の心が動いた！

「私は、ちょっと怖くても立ち向っていきたい」

(中学生の感想文より)

解説書付



プロデューサー 八頭司 重信 方言指導 坂井ひろ子

脚本/はづしたかし 撮影/林 健作 照明/山北 一祝 録音/山川 暢之 VE・編集/中山 裕 助監督/和田 健佑 進行/八頭司 英三 ヘアメイク/岸辺 里香 制作デスク/原田 喜久美

企画/福岡県・(財)福岡県人権啓発情報センター

制作/共和教育映画社

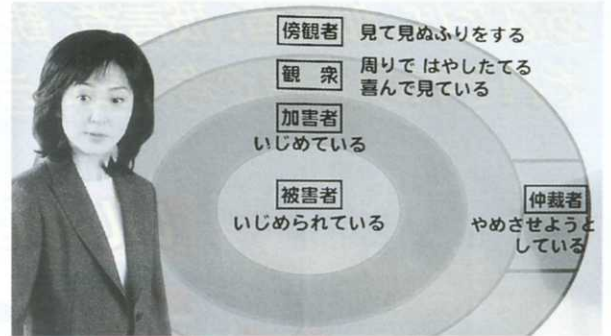
撮影協力

- 筑紫野市教育委員会
- 筑紫野市立筑山中学校
- 福岡市急患診療センター
- 福岡フィルムコミッション
- 柳橋連合市場共同組合
- 春日原自治会
- (有) 船津商店
- (株) アスカスポーツ

教育映像祭優秀作品賞受賞

ひとみ輝くとき

製作/八頭司 享
監督/内澤 豊



制作意図、活用について

本ビデオは、子どもの世界で起こっている、いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、子どもを家庭・学校・地域社会が協力し合って支えていく社会の形成ができることを願い、研修・学習ビデオとして制作いたしました。また、子ども達が本ビデオを鑑賞して「いじめの構造」を知ったとき、自分はどの立場にいるのかを判断し、皆で考え話し合いのできる作品としています。

あらすじ



郊外のとある中学校。毎年恒例のクラス対抗駅伝に向けて、生徒達は昼休みに練習をしている。その風景を写真に収める、写真部員の笠原俊介。しかし練習の場に、選手である中井拓也の姿はない。教室から一向に出ようとしない拓也の携帯電話には、ひっきりなしにメールが届く。それは拓也への誹謗中傷や、現金を要求するメールで拓也は頭を抱えている。



俊介の祖父雅男は、元報道カメラマンで、地域の民生委員・児童委員を務める。俊介は、色々な写真を撮っては雅男に見てもらい、腕を磨いている。電車を撮った写真を入院中の雅男に見てもらうが、そこに写る人影に雅男は疑念を抱く。そこへ、救急車で運ばれてくる少女と付き添う同じクラスの黒田大輔の姿。



恐喝されている拓也は、幼い頃からの友達だった俊介に金を貸してほしいと、夜、俊介の家にまで行くが、俊介は拓也に会わずに無視してしまう。拓也は俊介にも助けももらえず、孤立してしまう。



そして拓也は学校から姿を消す。

担任の山下洋子らは拓也を探すが、見つからない。拓也は死を考え、展望台に来ていた。しかし、居合わせた老夫婦の助けもあって、山下らは間一髪、拓也の元に駆け付ける。メールを送って恐喝していたのは、大輔を始めとする、同じクラスの同級生達だった。また、俊介が撮った電車の写真に写っていた人影。それは大輔らが拓也をいじめている姿だった。俊介は自分に危害が加わるのを恐れて見て見ぬふりをしていた自分を責める。

そして勇気を出して、その写真を大輔に突きつけ、いじめを告発する。

大輔は以前から、父親の家庭内暴力に連日悩まされていた。そうした中で拓也から、からかいのメールを受け取り腹を立て、それが大輔の拓也へのいじめの原因となっていた。しかしその後のホームルームで、いじめの責任は本当に大輔（加害者）だけにあるのか、と生徒達に問う山下。面白がっていじめに加担していた者（観衆）、俊介の様に見て見ぬ振りをしていた者（傍観者）。クラスの全員が、いじめに加担し、拓也（被害者）を追い込んでいたことに、だんだんと気づき、反省していく。そして拓也に学校に来てもらって、一丸となって駅伝大会に向かって行こうと、みんなの心は一つになる。

一方、拓也が大輔に送ったとされるメールに疑問を抱いていた山下らは、そのメールは同じクラスの別の生徒だったことを突き止める。この事で地域で研修会を持った雅男は、大人社会の歪みが、子ども達にも影響を与えることに気付かされる。

そして、クラス対抗駅伝大会当日。生徒達は力の限り走り、たすきを手から手へと渡して繋いでいく。そして、クラス全員が明るさを取り戻していった。

ビデオを活用される場合には、地域・学校の実態等に応じて、効果的な学習プログラムや手法を工夫してください。その際、『解説書』別冊子をご用意していますので、ご活用いただければ幸いです。

対象：地域や職場、学校での研修、小高学年・中学・高校生の学習 上映時間35分 ビデオ/DVD¥ 63,000 (字幕版あり) ※解説書付



共和教育映画社

〒530-0028 大阪市北区万歳町4-12 浪速ビル6F
TEL.06 (6312) 2645 FAX.06 (6315) 8595

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avl@kyowafilm.com